

特殊詐欺対策ニュース

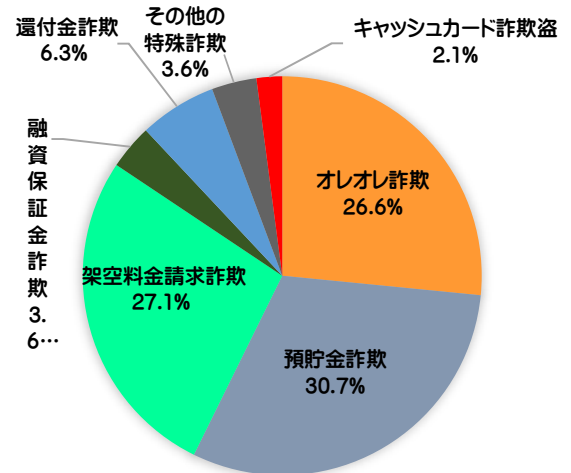
令和 7 年 6 月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和7年5月末）※暫定値

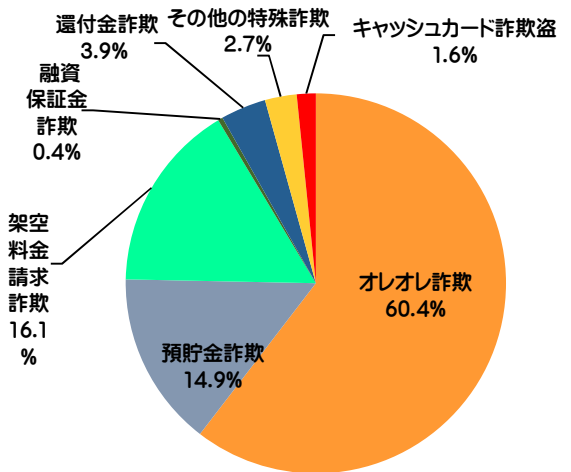
1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R7	192	524, 921, 866
	R6	38	138, 282, 181
	増減数	154	386, 639, 685
オレオレ詐欺	R7	51	317, 194, 262
	R6	5	57, 439, 600
	増減数	46	259, 754, 662
預貯金詐欺	R7	59	78, 186, 000
	R6	2	249, 000
	増減数	57	77, 937, 000
架空料金請求詐欺	R7	52	84, 526, 226
	R6	18	55, 646, 000
	増減数	34	28, 880, 226
融資保証金詐欺	R7	7	2, 029, 026
	R6	2	1, 071, 264
	増減数	5	957, 762
還付金詐欺	R7	12	20, 343, 525
	R6	5	11, 147, 805
	増減数	7	9, 195, 720
金融商品詐欺	R7	0	0
	R6	1	4, 999, 000
	増減数	-1	-4, 999, 000
ギャンブル詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
その他の特殊詐欺	R7	7	14, 243, 827
	R6	5	7, 729, 512
	増減数	2	6, 514, 315
キャッシュカード詐欺盗	R7	4	8, 399, 000
	R6	0	0
	増減数	4	8, 399, 000

【認知件数の比率】



【被害額の比率】



2 5月中に認知した主な事件

(1) 警察官をかたるオレオレ詐欺

被害者（旭川市内居住、70歳代女性）の自宅固定電話に警察官を名乗る男から電話があり、「あなた名義の口座やスマートフォンが不正に契約されている。」「あなたと暴力団が繋がっている容疑がある。」「無実を証明するためにあなたのお金を調べる必要がある。」「警察官がお金を回収するので指定の場所に置いてほしい。」などと言われ、複数回、犯人から指定された場所に現金を置いたところ何者かに持ち去られ、合計8,300万円をだまし取られた。

(2) 財務局をかたるキャッシュカード詐欺盗

被害者（札幌市厚別区居住、80歳代女性）の自宅固定電話に、財務局を名乗る女から電話があり「あなたのキャッシュカードが詐欺に使われた。」「銀行のカードを止めなきゃいけないから立ち会ってください。」「キャッシュカードにハサミを入れます。」などと言われ、その後、自宅に訪れた財務局を名乗る女にキャッシュカードを渡したところ、犯人がカードの端をハサミで切り、封筒にキャッシュカードを入れた後、印鑑を取りに行くよう言われ目を離した隙に、別の封筒とすり替えられて、キャッシュカード4枚を盗まれた。

○令和7年5月末における特殊詐欺の認知件数は192件（R6年5月末:38件）で前年に比べ154件増加し、被害金額は約5億2,000万円（R6年5月末:約1億4,000万円）で前年に比べ約3億8,000万円増加しました。
○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者（65歳以上）の割合が約63.5%（令和6年:約42.1%、令和5年:約80%）となっており、被害者の半数以上が高齢者の方となっています。
○依然として、オレオレ詐欺による高額被害が多発しています。「警察官がSNSで連絡したり、捜査名目でお金を要求することはないこと」「現金を知らない人に手渡ししたり、外に置かないこと」に注意してください。また、犯人が自宅にキャッシュカードを受け取りに訪れる「預貯金詐欺」の認知件数が多くなっています。「キャッシュカードは絶対に他人に渡さない。暗証番号は絶対に他人に教えない。」ことに注意するとともに、見知らぬ者から電話やSNS等でお金を要求されたときは、必ず、最寄りの警察又は＃9110に相談してください！

SNS型投資・ロマンス詐欺対策ニュース

令和7年6月

警察本部生活安全企画課

注意!

SNS型ロマンス詐欺が多発しています!

1 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況（5月末）

種別	認知件数	被害額
<u>SNS型投資詐欺</u>	22件	約2億8,000万円
<u>SNS型ロマンス詐欺</u>	35件	約4億7,000万円
合計	57件	約7億5,000万円

※ SNS型投資詐欺～SNS等を通じて、投資名目で金銭等をだまし取るもの。

SNS型ロマンス詐欺～SNS等を通じて、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取るもの。

2 被害発生状況の推移



3 R7. 5月中に認知した主な事件

(1) SNS型投資詐欺

被害者（函館市、60歳代男性）が動画投稿サイトに表示された投資広告にアクセスしたところ、SNSアカウントにつながり、同アカウントから誘導された二セの投資アプリ内で犯人から、「投資すれば収益が入る」などと投資を勧められ、指定された口座に計13回振り込み、合計約1,750万円をだまし取られた。

(2) SNS型ロマンス詐欺

被害者（札幌市東区、60歳代男性）は、SNSを通じて知り合った日本人を名乗る女から「アドバイスに従って投資すれば資産が増える。」と暗号資産投資を勧められ、犯人から指定された口座に複数回振り込み、合計約4億600万円をだまし取られた。

4 被害防止のポイント

- (1) ネットやSNSには、投資に関する詐欺動画や詐欺広告が多数存在します。

投資詐欺は、そのような広告を端緒に、LINE、Facebook、Instagram、Xなどの各種SNS、マッチングアプリなどで知り合った者からLINEなどのSNSグループチャットに招待されます。

SNSには、投資関連の詐欺グループチャットが多数存在しますので、見知らぬ者から投資を勧められた際には詐欺の可能性が高いです。

- (2) 被害に遭っている方のうち、複数回の振り込みでは、**毎回違う口座（個人名義や法人名義）**を犯人から指定されています。

- (3) 投資で絶対に儲かるなどの**うまい話はありません。**

(4) 被害防止対策

① **振込先に個人名義の口座を指定されたときには詐欺の可能性が高いです。また、法人名義の口座についても、当該法人が金融庁の登録業者であるか否かを確認しましょう！**

② **SNSやウェブサイト上で知り合った者から投資を勧められた場合は、必ず最寄りの警察又は#9110に相談してください！**